

新見市
デジタル田園都市構想総合戦略

令和 7 年 3 月

岡山県新見市

○将来のまちの姿

「人と地域が輝き 未来につながる 源流共生のまち・にしみ」

本市では、平成27年度から「新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき各種施策を展開してきましたが、依然として人口減少に歯止めをかけられてはいない状況です。

さらに、新型コロナウイルス感染症の流行によって、産業等への打撃や人と人とのつながりの希薄化など、本市も大きな影響を受けました。一方で、テレワークの普及により地方移住の気運が高まるなど、アフターコロナの社会は地方にとって成長機会でもあります。

今後はより一層デジタルやオンラインの活用が進み社会の在り方が大きく変化する中、本市においても、デジタルの力を活用しつつ、最大の課題である人口問題に対しこれまでの取組を更に発展させていく必要があります。

こうしたことから、デジタル実装の取組や、次の重点目標の実現につながる取組を着実に進めることとします。

目指すべき 将来	(1) 人口減少に歯止めをかける (2) 稼ぐ力を高め、地域内経済の好循環を実現する (3) 人口減少に適応できる地域をつくる
-------------	---

【重点目標1】

「都市から新見へ 新しいひとの流れをつくる」

《数値目標》

指標	単位	現状値（R5）	目標値（R11）
人口の社会増減数	人／年	△173	△150

《基本的方向》

○移住・定住の推進

○関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進

《関連する行動計画》

- (ア)【観光】観光資源を磨き 交流を促進し にぎわいを創出する
- (イ)【大学・高等学校】魅力ある教育環境で 自己実現できる人材を育てる
- (ウ)【住環境・都市づくり】快適な住環境を提供するとともに 魅力的で持続可能な都市をつくる
- (エ)【交流】多様な交流を推進し 住む人皆が幸せを感じるまちを目指す
- (オ)【移住・定住・関係人口】市民のウェルビーイングが向上し 人が流入するまちを実現する

【重点目標２】

「若者が結婚・出産・子育ての希望を実現できる地域をつくる」

《数値目標》

指標	単位	現状値（Ｒ５）	目標値（Ｒ１１）
本市で今後も子育てをしていきたい保護者の割合	%	93.3	95.0

《基本的方向》

- 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備
- 子ども達が健やかで 幸せに成長できる地域の実現

《関連する行動計画》

- (ア)【健康・保健】子どもから高齢者まで 心身共に健康に暮らせるまちを実現する
- (イ)【児童福祉】子どもが健やかで幸せに 成長できるまちを実現する
- (ウ)【就学前教育・義務教育】ふるさとを愛し 未来を拓く たくましい人を育てる
- (エ)【人権・パートナー】お互いを認め合い 多様な生き方が尊重されるまちを実現する

【重点目標３】

「地域に仕事をつくり、経済が好循環する環境をつくる」

《数値目標》

指標	単位	現状値（Ｒ５）	目標値（Ｒ１１）
創業件数	件／年	9	10
新見市オリジナルICOCA の電子マネー利用額	千円／年	299,857	400,000

《基本的方向》

○稼ぐ地域の実現

○地域を支える産業の振興・発展、新たな産業・雇用の創出

《関連する行動計画》

（ア）【農業】魅力ある産業に変革し 持続可能な農業を実現する

（イ）【畜産業・水産業】高品質な特産物を武器に 競争力ある産業を目指す

（ウ）【林業】森林資源の循環利用による 林業の成長産業化を実現する

（エ）【鉱業・工業】地域経済の牽引役として 鉱工業の安定的発展を促進する

（オ）【商業・サービス業】魅力向上と創業・事業承継で 持続的発展を促進する

（カ）【観光】観光資源を磨き 交流を促進し にぎわいを創出する
（再掲）

（キ）【雇用・労働】魅力ある雇用と労働を生み 市内就職者の増加を目指す

【重点目標４】

「魅力的で持続可能な地域をつくる」

《数値目標》

指標	単位	現状値（Ｒ５）	目標値（Ｒ１１）
公共交通空白地域の人口率	%	16.3	5.0
地域活動への参加意欲のある市民の割合	%	61.4	85.0

《基本的方向》

○将来にわたり、安全・安心な生活環境の実現

○地域の特性・資源を活かした個性的で魅力的な地域づくり

《関連する行動計画》

- (ア)【医療】必要な人に適切な医療を提供し 持続可能な地域医療体制を確保する
- (イ)【高齢者福祉】高齢者が住み慣れた地域で 健康に安心して暮らせるまちを実現する
- (ウ)【障がい者（児）福祉】一人ひとり自立し安心して 暮らせるまちを実現する
- (エ)【地域福祉】みんなで支え合い 安心して生活できるまちを実現する
- (オ)【市民学習・文化芸術】いつでも・どこでも・だれでも 生涯学ぶことのできるまちを実現する
- (カ)【歴史・文化財】歴史・文化財を守り伝え まちづくりに活かす
- (キ)【スポーツ】だれもが生涯 スポーツに親しむことのできるまちを目指す
- (ク)【防災】災害に強い基盤整備と 自助・共助・公助の防災体制をつくる
- (ケ)【消防・救急】機能的な消防救急体制で 市民の生命・財産を守る
- (コ)【防犯・交通安全】犯罪や事故を防ぎ 安全で安心して暮らせるまちを目指す
- (サ)【水道・下水道】効率的で持続可能な事業運営で 安全・快適なサービスを提供する
- (シ)【道路】災害に強く 機能的な 道路ネットワークを確保する
- (ス)【住環境・都市づくり】快適な住環境を提供するとともに 魅力的で持続可能な都市をつくる（再掲）
- (セ)【デジタル・情報通信】デジタルインフラの安定運営とともに 誰もが利用しやすいデジタルサービスを整備し 便利で快適に暮らせるまちを目指す
- (ソ)【公共交通】持続可能な交通体系を確立する
- (タ)【自然環境・生態系】誇れる豊かな自然と人が 共存できるまちを実現する
- (チ)【脱炭素】ゼロカーボンシティの実現を目指す
- (ツ)【廃棄物・資源循環】環境負荷の少ない 循環型社会への転換を目指す
- (テ)【コミュニティ・NPO・ボランティア】住民が主体となり 一人ひとりの暮らしと生きがい、地域と共に創っていく社会を実現する

【デジタル実装の取組】

市民サービスの利便性向上や行政事務の効率化を図るため、行政手続のオンライン化や業務のデジタル化など、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進します。

また、重点目標に掲げた各施策分野において、デジタル技術を活用した課題解決を図ります。

《関連する指標》

- (ア)【商業・サービス業】新見市オリジナル IC0CA の電子マネー利用額
299,857 千円／年（令和 5 年度現状値） → 400,000 千円／年（令和 11 年度）
- (イ)【医療】電子カルテを導入した公的診療所数（通算）
0 か所（令和 5 年度現状値） → 4 か所（令和 11 年度）
- (ウ)【歴史・文化財】文化財等データベース登録点数（通算）
550 点（令和 5 年度現状値） → 1,000 点（令和 11 年度）
- (エ)【デジタル・情報通信】「新見まちナビ」ダウンロード件数（通算）
4,200 件（令和 5 年度現状値） → 5,200 件（令和 11 年度）
- (オ)【デジタル・情報通信】マイナンバーカード交付率
83.1%（令和 5 年度現状値） → 85.0%（令和 11 年度）